

目名	日本語教育の実践Ⅳ(技能別指導・読解)
授業の目標・ねらい	学習者の日本語能力レベルに沿った読解指導の特徴と具体的な方法について知ることを目標とします。ボトムアップモデル、トップダウンモデル、相互交流モデルという読解過程研究理論に基づき開発された読解指導法の複数の引き出しを持つ教師となることを狙いとしています。
授業内容・授業方法	日本語初級・中級・上級、および漢字圏・非漢字圏学習者の読解学習の特徴と指導の違いを概観し、様々な読解指導法を具体的に紹介します。さらに、拓殖大学別科日本語教育課程において実践している読解指導のうち、独自の「アウトプットを意識した多読授業」を紹介し、そのミニ体験をしていただきます。
予習・復習	読解学習や指導に関する有意義なご経験や、反対にお悩みなどがあれば、学習言語を問わず 1 分程度にまとめて話すご準備をお願いします。皆で知識をシェアし、授業を通して読解指導に関する疑問等の解決を図って、実践に活かしていただきたいと思います。
使用テキスト	プリントを配布します。
参考書等	—
講師	大越貴子
所属	拓殖大学日本語教育研究所、NPO多言語多読
研究分野	日本語教育方法・教材開発
講師紹介	日本語学習者のニーズにより応える教授法探究、カリキュラム設計、教材開発などの実践研究を専門としています。地域における生活日本語学習支援も行っています。